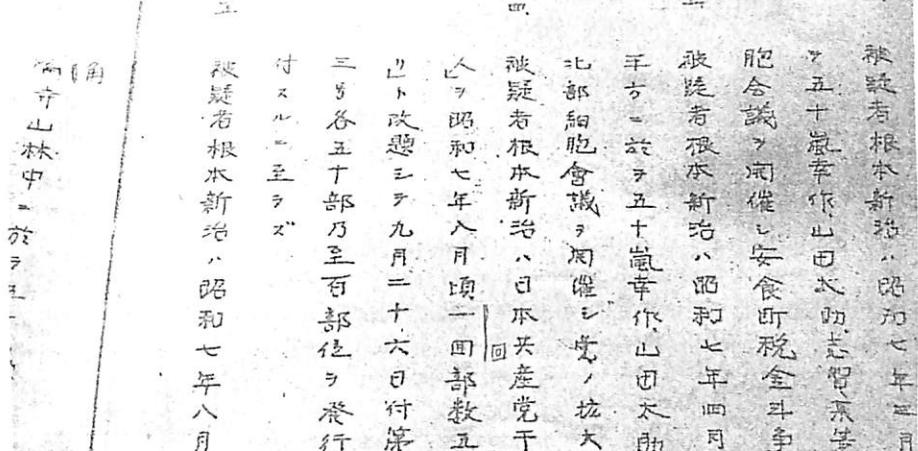


(前ページのつづき)

3・15と4・16大弾圧事件の痛手から不死鳥のように復活し昭和六年十二月日本共産党千葉県委員会と日本共産青年同盟千葉県準備委員会が結成されました。印旛郡、山武郡、匝瑳、海上、香取の三郡を東部地区、千葉市、東葛郡、千葉郡を西部地区、君津、市原、安房、長生、夷隅の五郡を南部地区とし、地区委員会を確立し活発に活動を展開していききました。

県委員会結成直後から、「内偵其ノ他実体ヲ把握スヘク、持续的内偵ヲ進メ」内務省及び所轄検事局の指揮を受けて、千葉県特別高等課は昭和七年十月十九日県下各警察署長に対し極秘裡に電話し二十日午前五時を期し一斉検挙せよと命令し、成田署、佐倉署、千葉署、八日市場署、市川署、茂原署、多古署、佐原署が検挙を実行しました。

検挙された人を、各署に分散留置して取り調べた結果、黨員十六名同盟員十名計二十六名を治安維持法第一条違反として十一月二十六日千葉県地方裁判所検事局に送致しました。



昭和七年十一月、千葉県特別高等課『日本共産党千葉県委員会、日本共産青年同盟準備委員会検挙概要』より

犯罪事実は「被疑者は、全国農民組合千葉県連合会執行委員たる地位を利用し各種の農民運動に党の運動方針を反映せしめ農民大衆を宣伝煽動して以て、日本共産党の拡大強化を図りたる事実あるもの」等です。

検事局が千葉地方裁判所に十二名を起訴したことが、「特高月報」に記載されています。判決は発見されていないので、当時発行された新聞で調査することになります。

この報告書を復刻して『治安維持法弾圧犠牲者千葉県関係名簿』に掲載します。悪逆非道な治安維持法による弾圧の実態を読み取っていただきたいと願っています。



房総



「独裁者の奴隷になるな！民主主義のために、よき世界のためにたたかおう！かがやかしい未来が、君にも私にもやってくる、われわれすべてに！」◆チャップリンの映画「独裁者」で、独裁者と瓜二つの床屋が間違えられて演壇に立ち、6分間の演説をした一節です◆パントマイムを信じ、かたくなにトーキーを拒否していたチャップリンが、自分の言葉で語りかけた初の映画でした。どうしても自分の言葉で語りかけたかったのではないかと思います◆チャップリンは、1941年6月、ヒットラーがソ連におそいかかり、ソ連人民がナチの軍事力の8割を一手に引き受け死闘していたとき、「人類の運命は彼らの戦いにかかっている」と演壇から繰り返しソ連支援を訴えます◆戦後、チャップリンの自由と民主主義のたたかいは、アメリカ政府の激しい「アカ」攻撃にさらされます。しかし彼は、屈服することなくたたかいた、1972年米アカデミー特別賞を受賞する。(七)

治安維持法賠償同盟

千葉県本部

事務局から

6月15日、第2回県本部理事会が開かれました。理事会で審議決定された議案と報告事項は次の通りです。

1、会員拡大

▽来年5月の総会までに、会員を500人とする自主目標達成のために、毎月二桁の拡大をしていくことを確認。

2、国賠署名

▽今期6000筆の自主目標達成をめざし、早くから署名に取り組みことを確認。

3、映画「伊藤千代子」千葉

県実行委員会

▽6月7日、映画「伊藤千代子」千葉県実行委員会「結成の集い」が開かれました。(詳しくは、本

紙8、9ページを参照)

4、報告事項

▽6月11日、県本部三役会開催、6月の理事会提出の議案等を審議。

▽千葉市支部、市浦支部がそれぞれ総会を開く。(詳しくは、本紙4、5、6ページを参照)

▽5月31日、映画「伊藤千代子」千葉県実行委員会事務局会議を開く。同盟は、小松実、小松敦、七里一司の各氏が参加。

▽6月11日、6月号「不屈」発送。県本部総会議案、国賠署名用紙、映画「伊藤千代子」のチラシを折り込む。参加者は、植村恵美子、松永悦子、渡邊喜代子、細沼敬二、小松実、高橋妙子、小松敦、七里一司の各氏。

5、理事会など今後の日程

▽三役会と「不屈」発送は、7月13日(火)。

▽理事会は、7月20日(火)、8月17日(火)。

同盟員拡大

会員到達は、

1名増の442名

6月は、東葛支部で2名、千葉市支部で1名などの拡大で4名の方が入会されました。退会が3名で先月より1名増となり、会員到達は442名でした。

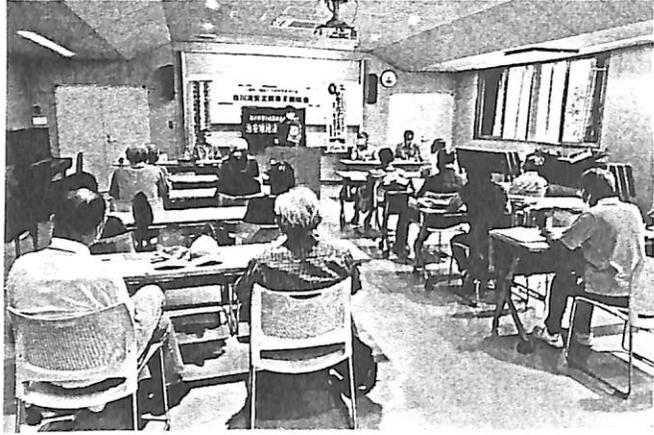
国会請願署名

今回から2021年度署名になります。前期に引き続き支援のほどよろしくお願い致します。次に掲載させていただく方々は、5月26日以降に返送してください。くださった方です。

(敬称略)

- ・5月26日、柏市 藤田廣登 40筆
- ・5月27日、東葛支部 12筆
- ・6月3日、我孫子市 田中なつみ 15筆

- ・6月3日、匿名 5筆
- ・6月9日、市浦支部 14筆
- ・6月18日、船橋市 西永守 20筆
- ・6月19日、千葉県AALA 6筆
- ・6月23日、佐倉市 内藤正則 15筆
- ・6月24日、東葛支部 20筆
- ・6月24日、君津市 三浦道雄 10筆
- ・6月27日、我孫子市 江角省二 10筆
- ・6月29日、千葉市花見川区 新田博 20筆
- ・6月29日、自治労連千葉県本部 6筆
- ・6月30日、千葉市中央区 奥田勢津子 10筆
- ・6月30日、千葉市美浜区 石川泉 15筆



市浦安支部第8回総会会場

市浦安支部の第8回総会が6月16日、浦安市中央公民会で行われ19人が参加しました。



治安維持法国賠同盟
市川浦安支部長
七里一司

治安維持法国賠同盟 市川浦安支部 第8回総会

昨年は、コロナで中止したため2年ぶりの総会でした。

県本部からは、小松実会長と小松敦事務局長が出席しました。

支部長であった前田堅一郎さんが、年度途中で辞任したため副支部長の私がいさつしました。私は「政府がいま本腰を入れてやることは、コロナから国民の命を守るからだ。国民の命を犠牲にする五輪は中止するよう政府に求める」といさつしました。

小松実会長は、市浦支部の支部機関紙「不屈」発行は全国でも例を見ないものであり、また、県内初の女性部結成も先駆的で、県本部の女性部結成は市浦支部に大いに刺激されたと述べ、今後、市浦支部が同盟活動で飛躍的に前進することを期待します、とあいさつしました。

治安維持法国賠同盟 千葉市支部が 第5回総会



千葉市支部事務局長
小松実

6月9日、治安維持法国賠同盟千葉市支部の第5回総会が開かれた。昨年は、コロナの影響で中止。2年ぶりの総会だった。



あいさつする寺尾さとし支部長

寺尾さとし支部長はあいさつで、「2016年の発足から5年、当初の3倍、130人を越える組織へと発展してきた」と、この間の奮闘に触れ、菅政権のもとで、治安維持法体制の復活が狙われていると、「土地利用規制法案」などの危険性を告発。青年を中心に「多喜二ウオーク」(多喜二ゆかりの麻布や築地を歩くツアー)をぜひ実現したいと豊富を語った。

次に、事務局長の私から、議案II情勢およびこの間の活動、今後の方針について説明。次期総会までに、「150人以上の支部」、国会請願署名は、1500筆をめざすこと、映画「伊藤千代子の生涯」成功に全力を挙げることなど、8点にわたって提案した。

参加者からは、「飯島喜美の不屈の青春」(玉川寛治・著)を読んだり、各地の講演会などに参加して、知らないことをずいぶん学んだ。伊藤千代子の映画



総会議案について説明する
小松実事務局長

についても多くの人に呼びかけたいし、署名にも取り組みたいと、うれしい発言があった。

玉川寛治さんからも、千葉県内の治安維持法による犠牲者の名簿の作成状況について発言があった。「日本共産党千葉県委員会検挙概況」という戦前の貴

今期は会員を70人以上にし、

次期は、100人の組織をめざそう

総会議案の提案は、渋谷定治事務局長が手術で長期入院をし体調が回復していないため、私が行いました。



総会議案の提案をする七里一司副支部長

私は、「菅政権は、治安維持法による弾圧の事実を『認めず』、『合法』であったとして、戦前の暗黒政治に無反省の態度をとっている。この政治を変えない限り、

重なる資料が出てきて、これも復刻し、一冊にまとめて来春には出版したいとの展望が語られた。また、地方議会への請願運動が千葉県は弱いのではないかと、この指摘があった。さらに、女性部の活動の発展のために女性会員の拡大に力を入れるべき。との指摘が出され、これも方針に盛り込むことになった。

参加は少なかったが、充実した内容の総会になった。

2021年度・役員体制

顧問 加藤文三

支部長 寺尾さとし

事務局長 小松実

事務局次長 佐々木ゆうき

会計担当 吉永弘子

事務局 細沼敬二

松永悦子

渡邊喜代子

(女性部担当)

歴史的決着をつけることはできない。野党連合政権を市民と野党の共闘で実現させれば、治安維持法犠牲者に対する国の謝罪と賠償の実現へ接近することになる。そのために、市浦支部も全力を尽くそう」と訴え、支部活動の方針を提案しました。

①署名の目標1000筆、会員を70人以上にする自主目標の達成。②支部機関紙「不屈」をさらに親しまれ、読んでもらえるために内容の充実を図る③女性部の活動を強化するために、スタートから不在であった部長を決める④月1回続けてきた学習会が、現在ストップしているが年3〜4回のペースで再開する⑤映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」の上映運動成功のために全力を尽くす、など、支部活動の方針13項目を提案しました。とくに、会員拡大について、今期70人以上の組織にすれば、次期は、100人の組織化が目標になる、なん

(次ページにつづく)

(前ページのつづき)

としても目標を達成しようとして
調しました。
会計の伊達正敏さんから会計
報告がされたあと、討論がおこ
なわれました。

討論は、伊藤政行さん、高橋
タツ子さん、美勢麻里さん、田
中長義さん、埴治子さん、そし
て、県本部の小松敦事務局長と
6人が発言しました。
議案と会計が採択され、次の
新役員が決まりました。

新支部長に田中長義さん	支部長	田中長義
事務局長に伊藤政行さん	副支部長	七里一司
		竹内喜忠
		埴治子
	事務局長	伊藤政行
	事務局次長	洪谷定治
	女性部長	埴治子
	会計	伊達正敏
	会計監査	高橋タツ子
	役員	阿部武弘
		清水みな子
		美勢麻里

ウズベキスタンの旅で見た 日本兵の墓地

4年前、ソ連から独立した中
央アジアのウズベキスタンを旅し
ました。ウズベキスタンは、国境
を最低2回越えないと海にたど
りつかない一重内陸国、137も
の民族が共存している国です。
第二次世界大戦後、シベリア

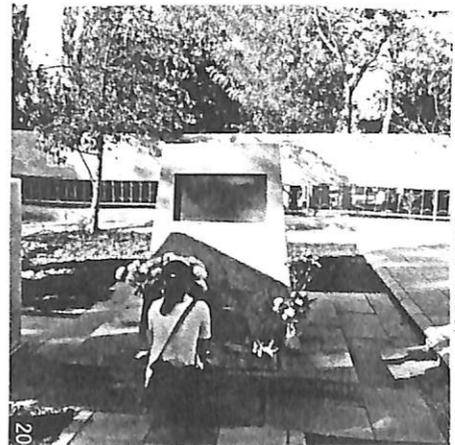
抑留の日本兵のうち2万6千人
がウズベキスタン各地に送られ、
ダム建設などの強制労働をさせ
られました。
タシケント中心部にあるナヴ
オイ劇場を訪ねましたが、こ
の劇場は日本兵約500人の強
制労働で建設されたそうです。
劇場の壁のプレートには「194
5年から1946年にかけて極
東から強制移送された数百名



日本兵の強制労働で建設された
アリシエル・ナヴォイ劇場

の日本国民が、このアリシエル・ナ
ヴォイ名称劇場の建設に参
加し、その完成に貢献した」と、
ウズベク語、日本語、英語で書
かれてありました。

1966年、タシケントを大地
震が襲い、多くの建物が崩壊し
ましたがこの劇場は無傷だった
そうです「さすが日本人の建てた
建物はびくともしなかった」と



日本兵士が眠る
ヤッカサライ墓地

評判になったそうです。
タシケント郊外のヤッカサライ
墓地に、この劇場建設中に亡く
なった日本兵の墓があり訪ねま
した。

(写真と文 七里一司)

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

市川浦安支部長

として



治安維持法賠償同盟
市川支部長
田中長義

私は6月16日に開かれた治
安維持法犠牲者国家賠償要求
同盟市川浦安支部第8回総会
で支部長に選出されました。い
ままで役員として活動したこ
とはありませんが、今の日本の
状況は極めて危険になっている
と感じてきました。

それは平和と民主主義のため
行動してきた人達を残忍に弾
圧した治安維持法体制に対し
て根本的な反省が行われなかつ
ただけでなく、新たな弾圧法が
強行されたことです。特別秘密
保護法と共謀罪法に続いて、今
回の土地利用規制法が強行成
立させられました。これらの法
律は現代版の治安維持法だと

思います。戦前の治安維持法は
戦争に巻き込むために重大な
役割を担いました。

現在、安保法制の下にある我
が国は、アメリカと中国などと
の紛争に自動的に巻き込まれる
可能性があります。戦前のように
に、国民を戦争に巻き込む役割
が今回の弾圧3法にはおおいに
あると思います。今回成立した
土地利用規正法では「注視区域」
「特別注視区域」が政権に白紙
委任されています。

まず、国に治安維持法犠
牲者に対する謝罪と賠償を行
わせることが重要になっていま
す。そのために、学習会や宣伝
署名行動等を創意工夫して行
い、会員を増やしていく大きく
運動を広げることが大事です。
これから、伊藤千代子さんの映
画「わが青春つきるとも」が制作
されます。支部としても上映会
成功のために全力で取り組みた
いと思います。

治安維持法犠牲者に

国家賠償法の制定を

求める請願の

20年度衆議院比例区
南関東と参議員千葉
県選挙区選出の紹介議
員のみなさん

治安維持法犠牲者に国家賠
償法の制定を求める請願の20
20年度紹介議員は、衆議議員
76議員、参院議員41議員、
計117議員のみなさんです。
次に衆議院比例区南関東と
参議院千葉県選挙区選出の紹
介議員を紹介します。

記載は、衆議院、参議院議員の氏名、選
挙区、党派、地元事務所(党派略記)立
立憲民主党、共日本共産党

衆議院議員



うぶかたゆきお
生方幸夫

比・南関東、立
松戸市岩瀬 153-1
アッセツ松戸1F



おかじまかずまさ
岡島一正

比・南関東、立
市原市姉崎海岸
1-20-27



おくのそういちろう
奥野総一郎

比・南関東、立
佐倉市西志津
1-20-4



しいかずお
志位和夫

比・南関東、共
横浜市神奈川区
西神奈川 1-10-16
斎藤ビル 2F



はたのきみえ
畑野君枝

比・南関東、共
横浜市神奈川区
西神奈川 1-10-16
斎藤ビル 2F



こにしひろゆき
小西洋之

千葉、立
千葉市中央区本町
2-2-6 パークサ
イド小柴 102号

参議院議員

映画「わが青春つきるとも」
—伊藤千代子の生涯—を
成功させる千葉県実行委員会

結成の集い

県内50ヶ所・1万人の
上映会開催をめざす

映画「わが青春つきるとも」
伊藤千代子の生涯—を成功さ
せる千葉県実行委員会の結成
の集いが6月7日、自治体福祉
センターで行われ7団体から1
3人が参加しました。
「結成の集い」は、民青同盟千
葉県委員会の吉田隆寛委員長
の司会ですすめられました。
はじめに「伊藤千代子紹介ビ
デオ」をみたあと、主催者を代
表して国賠同盟千葉県本部の
小松実会長があいさつしました。
激励にかけつけた元劇団前進
座俳優・嵐圭史さんは、あいさ
つのなかで自作の「若者へのメッセ

ジ」を朗読。つづいて、NPO日本
朗読文化協会会員の土岐志の
ぶさんが、「地しほりの花」を朗
読。「時代の証言者・伊藤千代
子」の著者・藤田廣登さんは、映
画の進捗や全国のとりのくみにつ
いて話しました。



映画「伊藤千代子」実行委員会の
「結成の集い」会場



実行委員会の体制や今後の取組みを
提案する国賠同盟千葉県本部の
小松実事務局長

このあと、国賠同盟千葉県本
部の小松実事務局長から、実行
委員会の体制や今後の取組みの
提案がされました。

小松さんは、県内50ヶ所・1
万人の上映会を開催する事を
目指して取り組みたいとして、
次の提案をしました。

(1) 実行委員会の名称は、映画
「わが青春つきるとも」伊藤千
代子の生涯—を成功させる千
葉県実行委員会とする。略称、
映画「伊藤千代子」千葉県実行
委員会。

- (2) 実行委員会の任務として、
 - ① 千代子の生涯を知る学習(本の普及を含め)活動を基礎に担い手を広げる
 - ② 映画の制作支援と上映運動を担う。制作募金や制作協力券の普及・推進をはかる。
 - ③ 地域・団体が行う上映会の調整、支援。
 - (3) 実行委員会の体制は、①映画の製作を支援し普及を呼びかける県内の各種団体や著名人等を広く組織し、呼びかけ人として名を連ねてもらい②具体的な取組みを計画し実行する組織として実行委員会がその役割を果たす。
- 実行委員会の体制
- 委員長 小松 実(国賠同盟
千葉県本部会長)
- 同 吉田隆寛(民青同
盟千葉県委員長)
- 同 大西 航(日本共産
党千葉県委員会書記長)
- 事務局長 小松 敦(国賠同盟
千葉県本部事務局長)
- (次ページにつづく)

国賠同盟新潟県本部会長
伊藤恭子さんからのメール

4月26日、新潟県本部会長の
伊藤恭子さんからメールをい
ただきました。

メールは、4月号の千葉県版
「不屈」1面掲載の治安維持法
犠牲者千葉県関係者名簿編集
委員会編集長・玉川寛治さんの
「名簿」作成のためになる資料
を編集部へ提供してください」
の記事に答えて、資料を送って
くださったこと。もう一つは、同
号に載った宮崎弘夫さんの記事
についてでした。
伊藤さんのご了解を頂きまし
たので、次にご紹介します。

国賠同盟千葉県本部御中

新潟県本部

会長 伊藤恭子

毎月、千葉県版「不屈」を御送
付下さいますありがとうございます。
います。

新潟県本部でも、「治安維持
法犠牲者名簿」出版の検討委員
会を立ち上げたところです。

貴誌の4月号に「名簿」作成
のためになる資料を編集部へ提
供してください。(の記事がござ
いましたので、参考までにFAX
させていただきました。新潟県の
同盟員で、元「赤旗記者」の枝並
金蔵さんが出版された「治安維
持法犠牲者を調べる」の数を
コピーして送ります。2冊あつて
どちらも700頁以上あります。

○ 特高月報のほうは、1930
年(昭和5年)9月〜194
4年(昭和19年)10月迄。
○ 思想月報は、1933年(昭
和8年)8月〜1939年(昭
和14年)1月迄。

表題に「新潟県関係の」と書い
てありますが、北海道から沖縄
まで、全国を網羅しております。
御希望でしたら送付させていただきます。
1冊1000円ですが、
送料を御負担いただけるとあり
がたいです。

4月号の宮崎弘夫さんの記事

事務局 七里一司(国賠同
盟千葉県本部副会長)

同 渡邊喜代子(国賠
同盟千葉県本部理事)

このほか、地域・団体内上映会の
考え方として、地域(団体)上映
実行委員会の結成、当面の取組
み、上映会が決まってきたからの取
組み、上映会場50ヶ所の地域・
団体の検討が提案されました。

このあと、提案に対する質疑
応答がされ、提案は確認されま
した。最後に、国民救済会県本
部の鷺尾清会長が閉会のあいさ
つをして終了しました。



嵐圭史さん(前列、右から3人目)、藤田廣登さん(前列、右から
4人目)を囲んで参加者の記念撮影

に、新潟刑務所で、佐藤さとし
(本名・佐藤佐藤治(さとうじ))さ
んのが書かれていたなつかし
く拝見させていただきました。

佐藤佐藤治、和藤治(わとうじ)、
九藤治(くとうじ)、三兄弟は、戦
前の治安維持法の犠牲者で、特

に、和藤治さんは獄死されてい
ます。

コロナ禍がいつ終息するか見通
しが立ちませんが、健康に留意
して共にならばりましょう。

2021, 4, 26,

日本共産党とともに 私の五十年史

(2)



流山市
吉野幸子

戦争は私のおもっていた(思わされていた)ような勇ましい、かっこいいものではなかった。三月十日のあの日のことが私の脳裏に焼きついてた。

敗戦国のみじめさを、私はそのあといやという程味あわされた。やがてアメリカ軍が進駐し、私の住んでいたすぐそばに「カマボコ兵舎」が建ち、街にはアメリカ兵があふれた。

戦争に負けても生きていかなければならない。配給の食糧だけでは寝ても生きていけない。だから私は日曜日に一週間分の食糧を買いだしに行かなければならなかった。「焼け出され」の私には交換する品物は何

もないので、近郊の農村では何も売ってもらえなかった。御茶の水駅のシャッターが上がるのと同時に一番電車に乗って、千葉県の飯岡あたりまでさつまいも

を買に行き、七貫目のさつまいもを背負い、暗くなつてやつと家に帰りついた。電車といつても客車に乗ることは少なく有蓋貨車に乗りきれない人は屋根の上に張りつくようにして乗った。うっかり頭を上げたとなん

だか電車は止らず走った。次の駅で連れの人が見場へ走つていった。あの戦火をくぐつてきた人びとは、もう人間らしい感情をなくしてしまつてた。

開への新しい段階に入った感触を受けました。

こうして発見から二年がすぎた二〇〇五年三月下旬、「四月一日から公開することの連絡が来ました。私たちは、直ちにマスコミ、研究者、関係機関に連絡し、公開初日に「伊藤千代子獄中最後の手紙を見る会」を開催しました。当日、中央図書館の講堂一杯の七〇人余が参加し、マスコミ各社はこぞつて「千代子獄中死の原因が夫浅野晃の転向にあった」「アララギ歌人の土屋文明が千代子の実名をあげて詠った」など写真入で報道しました。

「会」には、千代子の郷里、諏訪市の「伊藤千代子」こころざしの会」事務局

長の三沢実氏、在京の研究者藤田廣登氏も駆けつけ、諏訪と在京での顕彰運動について発言しました。

その場で、「手紙公開の集い」の開催が決められ、実行委員長には諏

カギをしっかりとしめ、電気を消し声をひそめて過ごした。出かける時は牛刀を手ぬぐいで巻いてカバンの中に入れていた。もしもの時は用心だった。

「あの戦争は聖戦なんかではなかった」「今まで教えられた歴史はみんなうそなんだ」。言論が自由になりはじめ、私の耳にもこんなことばが入ってきた。

出獄の政治犯を迎える人びと
(1945年10月)



から私たちの目にも「あの戦争は侵略戦争だ。反対すべきだ」などということは届かなかった。中でも日本共産党員たちは、はげしい拷問を受けながら十数年間もその節をまげなかつたと聞いて「すごい！」と驚いた。しかし、そのうち何人もの人が獄死したことを聞いて胸が痛んだ。

四六年に入つて、私たちの会社にも、軍隊や軍需工場にいた青年たちが入つてきた。そして労働組合が結成された。産業別労働組合会議の組合、全日本印刷出版労組中教分会だ。そして青年たちの中に青共(青年共産同盟)中教班がつくられた。私はもちろん同盟員になった。吉野一男がキャプだった。会社の仕事が終わると組合の「文化課」の部屋に集まって班会議をやり学習をした。

(次号につづく)

伊藤千代子「獄中最後の手紙」発掘秘話

—なぜ苦小牧か、獄中死の原点を見つめなおす

畠山忠弘 (6)

私も再三にわたつて館長に会い、「どんな理由で非公開を続けるのか」「図書館法はどこを見ても非公開の根拠はないはずだ」と迫り続けました。

この間、図書館長が上田正一氏に代わつたのを契機に「もう少し時間を貸していただきたい」との前向きな返事になり、公

地しばりの花

伊藤千代子獄中最後の手紙と「集い」講演録



▲「地しばりの花」——伊藤千代子獄中最後の手紙と「集い」講演録。2005年刊

訪市出身の石城(いしがき)謙吉氏(元北大演習林苦小牧林長)が押され、七月三日、苦小牧市民会館に三〇〇人余が参加して開催されました。講師には、長野市の文学研究者の東栄蔵氏が「こころざしつたふれし少女・伊藤千代子」と題して、女性革命研究者で日本共産党常任幹部会員の廣井暢子氏が「歴史をつくり、歴史に生きた女性たち」と題してそれぞれ講演しました。

この講演録に千代子の獄中最後の手紙を収録した冊子『地しばりの花』が発行され、今も読み継がれています。その公開から五年ごとに「公開の集い」が開かれてきました。

映画製作・

上映運動の高揚の中で
苦小牧支部の再飛躍を

今年(二〇二〇年)が、前回から五年目になります。この年を記念するかのようには、「伊藤千代子の映画化企画」が発表

されました。同盟苦小牧支部は、この間、会員1.5倍化、支部内の班を二カ所に設置。そして、千代子ゆかりの地で、上映券道内30口の2割(6口)の達成を目指すとともに先触れの活動を定着させ、募金に応じてくれた方に同盟署名を願ひし、学習会を開き、参加者に入会を勧めるなど、運動の活性化と好循環が始まっています。獄中からの最後の手紙が発信されてから九一年、苦小牧での手紙公開から一五年、この年にあつてわが同盟は、千代子のこころざしを受け継いで、あらゆる面で飛躍をとげなければなりません。

(はたけやまただひる・北海
道同盟苦小牧支部長)

『山宣と治安維持法』の掲載にあたって

『山宣と治安維持法』は、2001年3月5日、歴史学者の浜林正夫氏が山宣没後72周年の際に記念講演したものです。このたび、東京山宣会のご了解を頂き掲載させていただきましたことになりました。ご期待ください。

浜林正夫氏のプロフィール

(1925年12月25日) (2018年5月19日)
小樽市生まれ、歴史学者。東京教育大学教授、一橋大教授、名誉教授。全国革新懇代表世話人・東京労働学校校長。

専攻はイギリス近代史。戦後いち早くイギリス革命をマルクス主義の立場から究明して先駆的業績を発表、17〜18世紀イギリス社会の考察をベースに史的唯物論に基く歴史的科学研究を展開した。

東京教育大学の筑波移転反

対闘争では組合執行委員長として活動、歴史科学協議会の中心的指導者でもあった。



労働農民党のバッジを著ける山本宣治 (1928年10月)

『山宣と

治安維持法』

(1)

浜林正夫

ご紹介頂きました浜林です。

山本宣治と治安維持法というテーマですが、山宣の活動を追いかけるながらその時代の時代背景みたいなことを幾つか付け加えて申し上げてまいりたいと

思います。簡単な年譜のようなことではありますが、1889年(明治22)に京都で生まれております。父親の亀松という人は、長男ではなかったために家をつぐことができなくて、少しぐれたんですね。酒ばかり飲んで店の金を使い込むとか、散々親に迷惑をかけて勘当(かんどう)されたというような人でありました。酔っぱらって京都で道路に寝て倒れていたんですけれども、それを四条教会という所の牧師さんに助けられて、教会に連れていかれ、そこで世間から除け者にされていた自分を、牧師さんが大変暖かく接してくれた、ということ生まれ変わったように行いを改める訳です。

天皇に金を貸した借用書

お母さんのたね、「多年(たね)」と書くんですが、この方もその教会で結ばれましてクリスマスヤン同士の結婚であります。この多年という方の実家、これは



多年、宣治、亀松

安田という家で京都では古い足袋(たび)屋さんです。旧家でありまして後で多年さんの思い出話によりますと京都の旧家ではこういうことがあったらしいですが、天皇に金を貸したら返してくれなかったそうで、借用書が残っておりますが50円、その当時明治初年の50円でありますから、それは大変な金額だと思えますがちよつと幾らぐらいになるかわかりませんが、恐らく今の金にすれば100万とか200万とかそんな金額だと思います。

(次号ページにつづく)